



公民館で文化芸能祭

秋たけなわの十一月、南あわじ市文化団体連絡協議会各支部では、文化・芸能活動に



▲西淡総合芸能祭(琴伝流銭太鼓)

南あわじ市文化団体連絡協議会

取り組む団体・個人の発表の場を提供しようと文化祭・芸能祭を市内四会場で開催。多



▲緑文化展(生花展)



▲三原文化展(陶芸展)



▲南淡文化芸能祭(うずしお混声合唱団)

くの来場者が訪れ、文化の秋を楽しみました。

一月にも同会本部主催の「第三回南あわじ市文化展」が行われます。(十六頁参照)お楽しみください。

乳牛の全国大会でチャンピオンに

山口貴士さんが受賞

十一月十二・十三日、静岡県御殿場市で開かれた「第七全日本ブラックアンドホワイトトショウ」(㈱家畜改良事業団主催)で、山口貴士さん(北阿万)の出品した乳牛が、クラスチャンピオンに輝きました。

乳牛の品質を競うもので、山口さんは生後四十二か月から四十八か月の出産経験のある部門に、手塩にかけて飼育している「レディスマナーエスカレードE.T」を出品。体形の美しさや、色つやなどが素晴らしく、そのクラスで最も高い評価を獲得。見事受賞されたものです。



▲市長へ報告に訪れた山口さん(左)

淡路三原高校の校歌を初披露

淡路三原高校開校記念式典



▲新校歌を歌う淡路三原高校1年生

平成十九年四月に開校した淡路三原高校の開校記念式典が十一月二十三日、同校体育館で行われました。

式典には同校一年生や、開校する三原高校と志知高校の二・三年生、関係者ら約千人が出席。来賓祝辞や淡路人形座の記念公演などが行われ、誕生を祝いました。

また、一般公募していた同校の新しい校歌が昨年十月に決定し、式典中、作詞の服部達明さん(榎列)と作曲の加藤佳子さん(洲本市)に感謝

状と記念品が手渡されました。その後、一年生がピアノ伴奏に合わせて合唱。初披露しました。歌詞には南あわじ市の豊かな自然や、希望あふれる生徒像が記されています。

淡路三原高校は、統合する三原・志知両校の優れた特色を継承し、理数系の専門分野を深く研修する「サイエンスコース」の設置や、人文・社会、情報、福祉・ボランティアなど多様な進路に応じた類型を導入しています。また、クラブ活動を中心に、淡路人形浄瑠璃などの郷土芸能伝承活動にも取り組んでいます。

なないろ館周辺の有効活用を

福良まちづくり推進協議会

福良地区の住民らで組織する任意団体「福良まちづくり推進協議会」(芝壽浩会長)では、同地区の観光資源を活かした再整備策をまとめた意見書を、十一月二十六日、中田市長に提出しました。

うずしお観潮船発着場のある同地区の「なないろ館」では、年間二十万人もの観光客が訪れています。しかし、そ

のほかの観光資源である風光明媚な自然環境や海の幸、神社仏閣、伝統芸能などがあるにも関わらず、観光客を足止めできていないのが現状です。これを受け、同協議会の若者を中心とした企画委員らで、昨年一月から定期的に会合を重ね、ハード面・ソフト面の整備の必要性をまとめた意見書を作成しました。



▲中田市長(左)に意見書を提出する芝会長(中央)ほか

阿万風流踊りを東京で披露

全国民俗芸能大会に出場

文化庁選択文化財の指定を受けている「阿万風流踊り」の保存会(阿万上町)のメンバーが、11月24日に東京で開催された「第57回全国民俗芸能大会」に出場し、会場から盛大な拍手を受けました。

この踊りは、室町時代から伝わり、雨乞いの願解きと五穀豊穡、郷土繁栄の祈りを込めて奉納されている踊り。現在も、毎年9月15日に亀岡八幡宮で奉納されています。声明がかかったゆるやかなテンポの歌から古風で優雅な味わいを感じさせます。



▲大舞台で熱演する「阿万風流踊り」保存会の皆さん

愛好グループが交流

南淡路だんじり唄交流会

だんじりを持たない愛好団体による発表会「第12回南淡路だんじり唄交流会(同実行委員会主催)」が12月2日、阿万公民館で行われ、過去最多の参加数12団体が、見事なパフォーマンスを見せました。中でも、今回初参加の淡芸研子供教室(福良)は、感情を高める演出として、三味線演奏を加え、力いっぱい歌い上げていました。会場には、延べ250人が詰めかけ、出演者に温かい拍手を送っていました。



▲三味線の演出も交えて唄を披露する淡芸研子供教室

おめでとう

ポランティア・スピリット近畿ブロック賞



▲細川さん

このほど、志知高校三年の細川真希さん(八木)が、中高生対象の第十一回ポランティア・スピリット・アワードの近畿ブロック賞を受けられました。

細川さんは、和太鼓部とボランティア部で部長を務め、郷土芸能部でも活躍。福祉施設を慰問し公演するなど、ボランティア活動に熱心で、これが評価されたものです。

ともじびの賞

地域文化の向上に尽くされた方を表彰する「ともじびの賞」に、このほど淡路人形浄瑠璃青年研究会(代

表、木田徹さん)と上居讓さん(榎列)が選ばれ、受賞されました。

◆淡路人形浄瑠璃青年研究会
同会は、昭和四十六年に設立。後継者発表会での公演をはじめ、永年にわたり島内外での公演を積極的にするなど、淡路人形浄瑠璃の保存伝承に努めてこられました。

◆上居讓さん

上居さんは、だんじり唄保存会の結成に尽力。後継者育成のほか、だんじり唄コンクールの審査員など、だんじり唄の伝承と後進の育成に尽くされ、また民謡の講師も務めてこられました。

優良自主防災組織 知事表彰

福良地区自主防災会(芝壽浩会長)に十一月十日、優良自主防災組織知事表彰が贈られました。

同会は、自主防災の原点に立ち、防災意識の普及と防災予防に努め、地域防災力の向上に尽力しています。これらが評価されたものです。